

水田3倍活用と行列ができるとうもろこしによる稼げる農業

もり まち
【静岡県森町】

体制・人材
づくり
栽培作物
・方法
加工・出荷
販売

【工夫のポイント】

- 基盤整備を順次実施し、年間で水稲、レタス、とうもろこしの3品目を作付ける「水田3倍活用」を実践。
- 糖度が高く、高品質なとうもろこしは、直売所で消費者へ直接販売することによって流通経費を削減し、収益性の向上を図る。
- 地域の若手農業者によるブランド力向上に向けた活動組織の設立。

整備効果を最大限に活かし水田を3倍活用

- 区画整理や用排水施設の整備、暗渠排水の整備等を順次実施し、営農労力の削減を図るとともに、水稲に加えてレタス、とうもろこしを導入。年間で3品目を作付ける「水田の3倍活用」を実現。



基盤整備

(S39年～S47年)
(H25年～)
(県営農地整備事業)

【整備前】

扇状地に広がる水田単作地帯であり、区画は不整形で、用水不足や排水不良に悩まされ、不安定な農業経営を余儀なくされていた。



【取組地域の概要】

- 位置 静岡県周智郡森町

もりまち さと
森町とうもろこしの里地区

- 主要作物
 - ・ 水稲
 - ・ レタス
 - ・ とうもろこし



○主な支援施策

- ・ 県営かんがい排水事業 (S39～S47)
- ・ 県営ほ場整備事業 (S41～S52)
- ・ 排水対策特別事業 (S54～H7)
- ・ 県営土地改良総合整備事業 (H2～H12)
- ・ 基幹水利施設補修事業 (H7～H17)
- ・ 地域水田農業支援緊急整備 (H18～H22)
- ・ 県営農地整備事業 (経営体育成型) (H25～H29)

生産現場

地下水位制御システムの導入による高品質化

- 地下水位制御システムの導入により作物の収量の増加、高品質化を促進
- 耕畜連携による資源の循環利用 (WCS→畜産農家→堆肥→農地還元)にも取り組む。



加工・流通

とうもろこしの直接販売を通じた収益性向上

- とうもろこしは農家が直売所で販売。流通経費の削減及び現金収入による農家の収益性向上とともに、地域の雇用を創出。行列ができるほど地域での評価は高く、「甘々娘」や「甘太郎」などの地域ブランドを確立。



担い手

若手農業後継者によるブランド力向上の取組

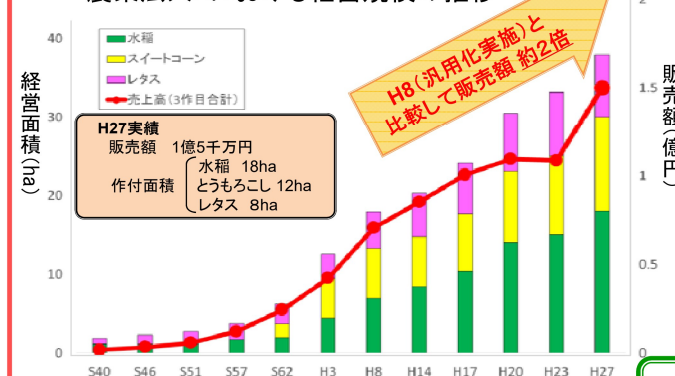


- 地区内の若手後継者(40歳以下)14名がグループを結成し、ブランド力向上を図るために独自の研修会を実施。また、地域の小学生向けの農業体験も開催。

水田3倍活用やとうもろこし直売の取組により、販売額の向上を実現

- 取組は、地域内での成功例の横展開を図ることで徐々に普及。現在では地域内の21の経営体で「水田3倍活用」に取り組み、「周智レタス」、森のとうもろこし「甘々娘」、「甘太郎」ブランドの確立やとうもろこし直売により、販売額が向上。

農業法人Aにおける経営規模の推移



【出典：農業法人Aより聞き取り】